

(記入例)

第3号様式（第5条関係）

農業委員会委員候補者応募申込書

(個人応募)

年 月 日

(あて先) 羽島市長

羽島市農業委員会委員候補として次のとおり応募します。

氏名	性別	生年月日(年齢)	住所	職業
○○ ○○	男	昭和50年1月1日(51歳)	羽島市○○町口口番地	農業

【連絡先】電話番号： 000 (555) 2222

【経歴】

昭和○年○月 ○○○○○ 入社

平成○年○月 ○○○○○ 退社

平成○年○月 就農

平成○年○月～令和○年○月 認定農業者（父親と家族経営協定を締結して共同申請。）

平成○年○月～令和○年○月 ○○町農事改良組合副組合長

平成○年○月～令和○年○月 羽島市○○町○○自治委員

【農業経営の状況】（耕作面積、作目、農業従事日数、農業所得額等）

耕作面積：37.5ha（所有地：3.8ha、借入地：33.7ha）

作目：水稻 20.1ha、小麦16.2ha、露地野菜（にんじん、たまねぎ）2.8ha

農業従事日数：年間180日

農業所得額：専従者給与として月20万円

【認定農業者等の該当】（③は、ア～キの該当するもの全てに○印）

① 認定農業者（個人）

② 認定農業者である法人の業務執行役員または重要な使用人（農場長等）

③ 認定農業者に準ずる者

ア. 認定農業者であった者（法人の場合は役員等）

イ. 認定農業者の経営に参画する親族

ウ. 認定就農者（法人の場合は役員等）

エ. 集落営農の役員

オ. 地域計画に位置付けられた農業を担う者（法人の場合は役員等）

カ. 指導農業士・青年農業士・女性アドバイザー

キ. 基本構想水準到達者（法人の場合は役員等）

【応募の理由】

（例） 農業への関心が高く、自らも長年にわたって耕作を行ってきたが、今後は農業委員会の活動を通じて地域に貢献したいという強い思いがあるため。

（例） 地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の解消などの農業委員会業務に貢献できると考えるため。

【農地利用最適化推進委員への応募の有無】

無 有 (応募地区名：)

注意事項

この応募申込書に記載のある情報（一部を除く。）は、農業委員会等に関する法律施行規則第6条の規定により公表の対象となります。